

UP787A

疾風

HAYATE

は や て

業界最速クラスのハイスピード荷揚げシステム

足場部材 荷揚げ革命



高速無線ウインチと専用ブラケットアームで 介錯ロープをガイド代わりに使用する 荷揚げシステムが完成しました。

圧倒的なスピードとパワーで人気の疾風ウインチに、高い操作性で
荷揚げの効率性を実現したシルバーユニアーム。

現場革命！現場の常識が変わる！



速度・操作性・安全性を追求した荷揚げシステム



足場部材荷揚げ専用
ハイスピードウインチ

UP787A 疾風ウインチ



コードレスでウインチ操作
無線リモコン仕様

分離タイプの電装ボックス



ブラケットアームの概念を変えた
介錯ロープガイドシステム

UP303 シルバーユニアーム



信頼性のある
ラッチロックフック



足場部材荷揚げの 時間短縮を実現した ハイスピードウインチ登場

UP787A 疾風ウインチ



平成 29 年度
横浜市販路開拓支援認定商品



無線リモコン
送信距離 100m

100V仕様
出力 1000W

15 階建て現場の
助っ人登場!!



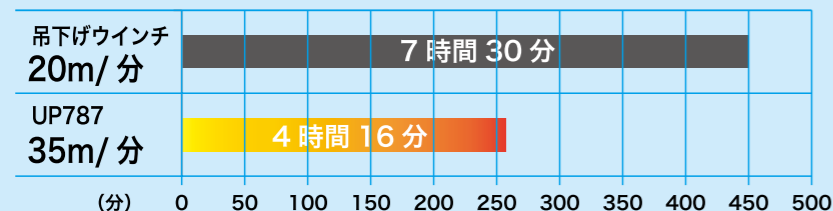
2SPEED
高速：35m/分
低速：15m/分

業界最速！早くてパワフル

- ▶ 最大 35m/分を実現し、巻揚げ速度を2段階で調節可能！
使い易い2段階の速度を実現。高速：35m/分 低速：15m/分
- ▶ 巻揚げ荷重 130kgまで可能、パワフルモーター付
荷重時の荷揚げでも速度低下を軽減する出力 1000wのモーターを装備

荷揚げ時間の違い

【揚程 45m、15 階建、荷揚 1 回 130kg、
往復 100 回（13t）稼働での計算値】



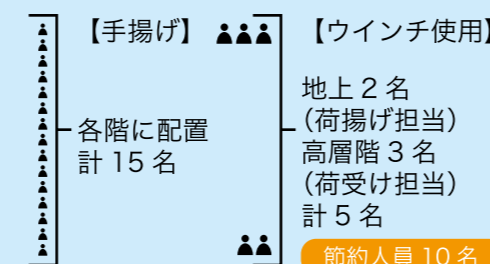
速度と作業時間比較表

	吊下げウインチ	UP787
速度	基準 20m/分	35m/分
荷揚げ時間	7時間30分	4時間16分

※揚程 45mを想定した作業時間。
※1回 130kgで、往復 100回稼働での計算値。
※積み下ろしの時間は含まれておりません。
※定格時間 5分は含まれておりません。

手揚げ作業と比べてのメリット

- ・作業員の身体的負担
→身体疲労軽減
- ・手揚げによる落下の危険性
→落下事故防止
- ・荷揚げ作業の効率化
→人工数を減らす事で労務費の削減
→人工手配の簡素化



使い易く様々な現場に対応

最大 100m送信可能なコードレスリモコンスイッチ搭載！

リモコンスイッチは最大で2個使用可能。
同時操作時の誤動作防止回路付。(有線タイプもご用意できます)

5mm×100mのワイヤー採用で、高層ビルに対応！

最大 100mまでの巻取りが可能。15 階建ての現場でも楽々荷揚げ。

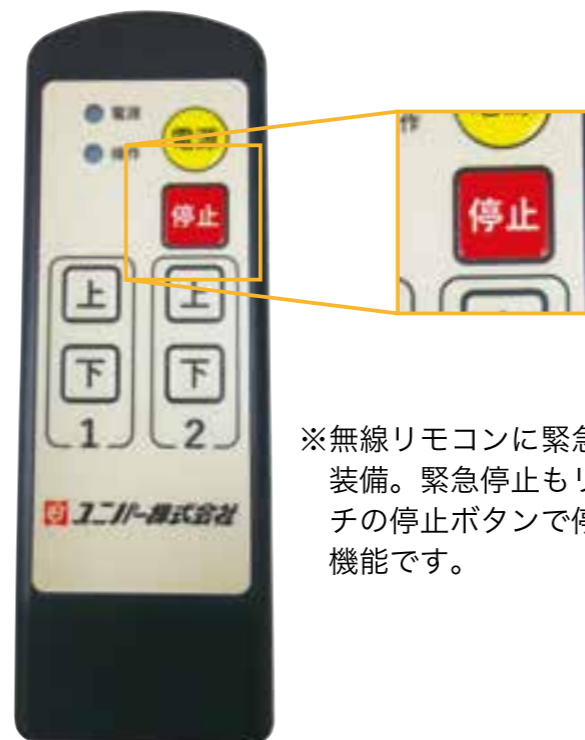
こだわりの安全設計

過巻防止スリップ機能付き

吊荷の巻き揚げ過ぎでの過巻防止スリップ機能が働き衝突を防ぎます。

無線リモコンには緊急停止機能も装備！

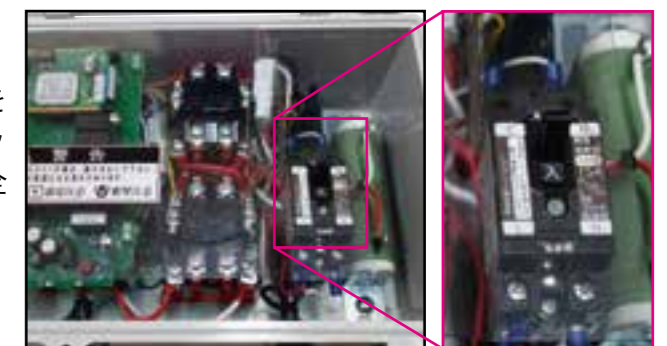
異常を感じたらすぐさま緊急停止する停止ボタンを装備。(無線リモコン使用時)



※無線リモコンに緊急停止ボタンを
装備。緊急停止もリモコンスイッ
チの停止ボタンで停止させる安全
機能です。

無線リモコンユニット

漏電ブレーカーを内蔵しているので、万が一
使用中に発生した電気事故でも、未然にブレー
カーが落ち、安心してお使いいただけます。



漏電ブレーカー内蔵

手動降下機能付きで、停電、故障時にも荷降しが可能。

万が一の時にも荷を手動で降ろせる安全機構。



※本体側面にあるキャップを外すと手
動降下機能が出てきます。
5mm六角レンチで安全に吊荷を手
動で降ろす事ができます。

疾風ウインチ
説明動画



UP787A 動画

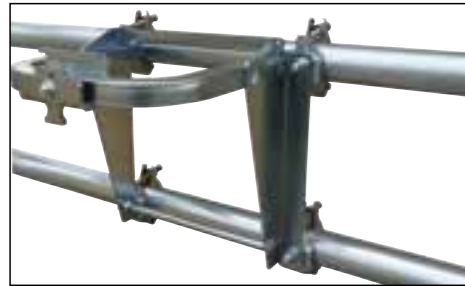
現場使用例



UP787A 動画

UP787A 疾風ウインチ設置手順

専用ウインチベースで簡単にウインチが取り付けられ組替え、盛替えがスピーディーに行えます。



①ウインチベース取付

単管パイプφ48.6を2本横に250mmピッチで平行にウインチベースを取付ます。ベースの水平を確認。



②ウインチ取付

ウインチ本体をウインチベースに差込みます。



③ウインチ固定

前面ロックプレートのロックを確認し、裏側ノブボルトを締め込み固定します。

吊下げタイプのウインチと比較すると足場の組上げ時にウインチを常に最上部へ設置するため、ウインチ本体を上を持ち上げる必要がありますが、**疾風ウインチは足場の下にウインチ本体を設置するため、上部の滑車を移動するだけで簡単に安全に組替え、盛替えが可能となりました。**

疾風ウインチの能力を発揮する為、電圧降下にご注意ください。

電工ドラムや延長コードをご使用になる場合は、下記を参照にして電圧降下を考慮してご使用願います。電気は長く伸ばせば伸ばすほど、また使用量を増やせば増やすほど電圧は降下します。(下記参照) 高速でパワフルな疾風ウインチの能力を発揮し、安全にご使用いただく為に電圧降下にはご注意ください。

■推奨する電線の太さと芯数

疾風ウインチ AC100V15A仕様

電線の太さと芯数	全巻時※1	電線許容電流	20m	30m	
VCT3.5mm ² ×3芯	7A	32A	97V	95.5V	◎推奨品
VCT2.0mm ² ×3芯	5A	22A	94V	90V	
VCT1.25mm ² ×3芯	4A	16A	90V	86V	

上記数値は電圧100Vに対する電圧降下値となります。10%以上の電圧降下(90V未満)の場合はモーター停止や故障などの原因を招く恐れがあります。現場で電源を10m以上延長する場合には、本カタログ掲載の極太3.5スケ電線仕様の電工ドラムをご使用ください。

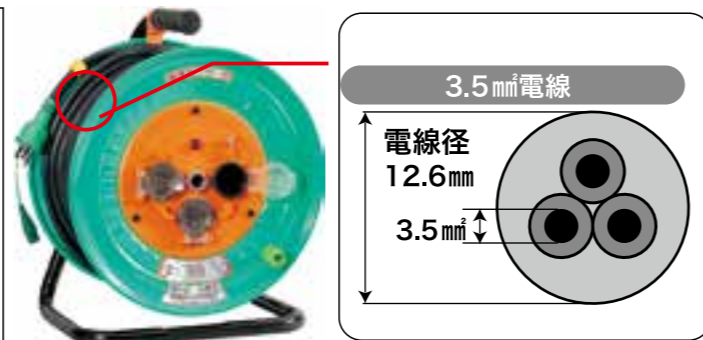
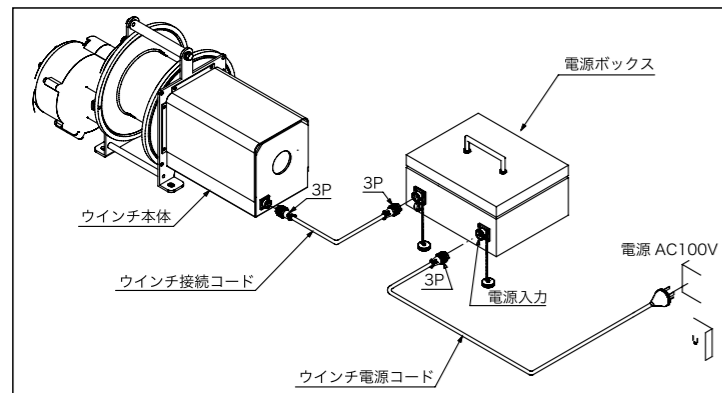
【ウインチ使用上の注意】

電源に延長コードを使用する場合、電圧降下(※1)が起こりますのでコードの太さは2.0mm²は20mまで、3.5mm²は30mまでとします。

※1 電圧降下とは電線が長くなるほど電圧が95V、90Vと下がる現象です。延長コードは太くて短い物をご使用下さい。

※2 昇圧機は使用しないで下さい。

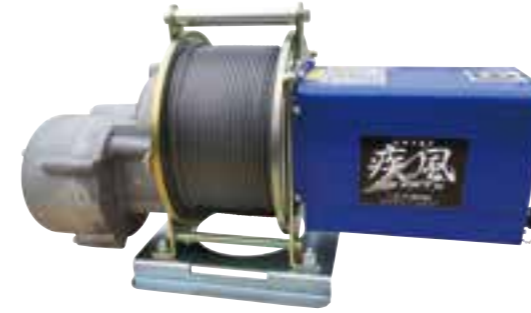
UP787ARC 無線タイプ接続図



※1: ドラムから電線を伸ばさないで使用すると、全巻時のアンペアとなりドラム内に熱がこもり大変危険です。
※2: 昇圧機の使用はできません。

疾風ウインチ：セット構成

■UP787A 疾風ウインチ 基本セット



UP787A ウインチ本体



ウインチベース
(単クランプ4ヶ付)



電装ボックス
●電源コード 3m
●接続コード 3m(3P/3P プラグ)

●リモコンスイッチ 1個



リモコンカバーストラップ付

オプション



追加
無線リモコン
スイッチ

無線リモコンスイッチは、最大2個使用(オプション)する事ができ地上と上部での操作が可能です。

ワイヤーの長さを選ぶ

4mmワイヤーロープは使用できません。

5mm×80m

JIS規格 ワイヤーロープ

5mm×100m

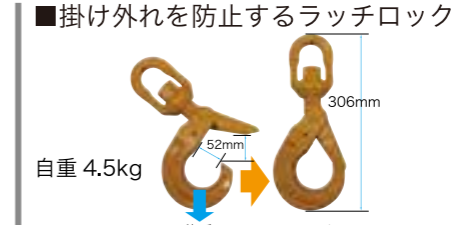
JIS規格 ワイヤーロープ

フック



ラッチロックフック
(シャクル付)

※シャクル
RS-2t



■掛け外れを防止するラッチロック

自重 4.5kg

ロック

ボールベアリング内蔵で荷重がかかった状態でもワイヤーロープのより戻しがスムーズで吊荷の回転防止になり、吊り揚げ時はフックに荷重がかかると自動的にフックが閉じ、安全にロックされます。

※UP303シルバーユニアームを使用する場合、ラッチロックフックを必ずご使用ください。

介錯ロープガイドシステム

UP303 シルバーユニアーム

特許第 5948542

据え置きウインチ専用の ブラケットアームを開発

ブラケットアームの旋回が軽く、介錯ロープをガイド代わりにして荷揚げができる足場部材の荷揚げ革命！新たな荷揚げシステムが誕生しました。高速ウインチ「疾風」と「シルバーユニアーム」を組み合わせる事で安全に効率の良い荷揚げ作業ができます。

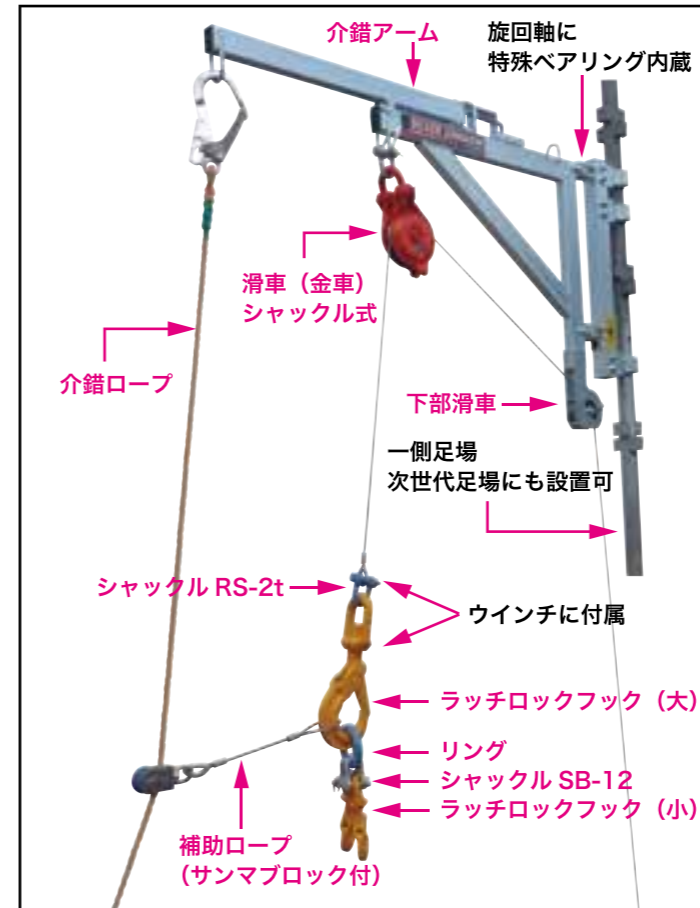
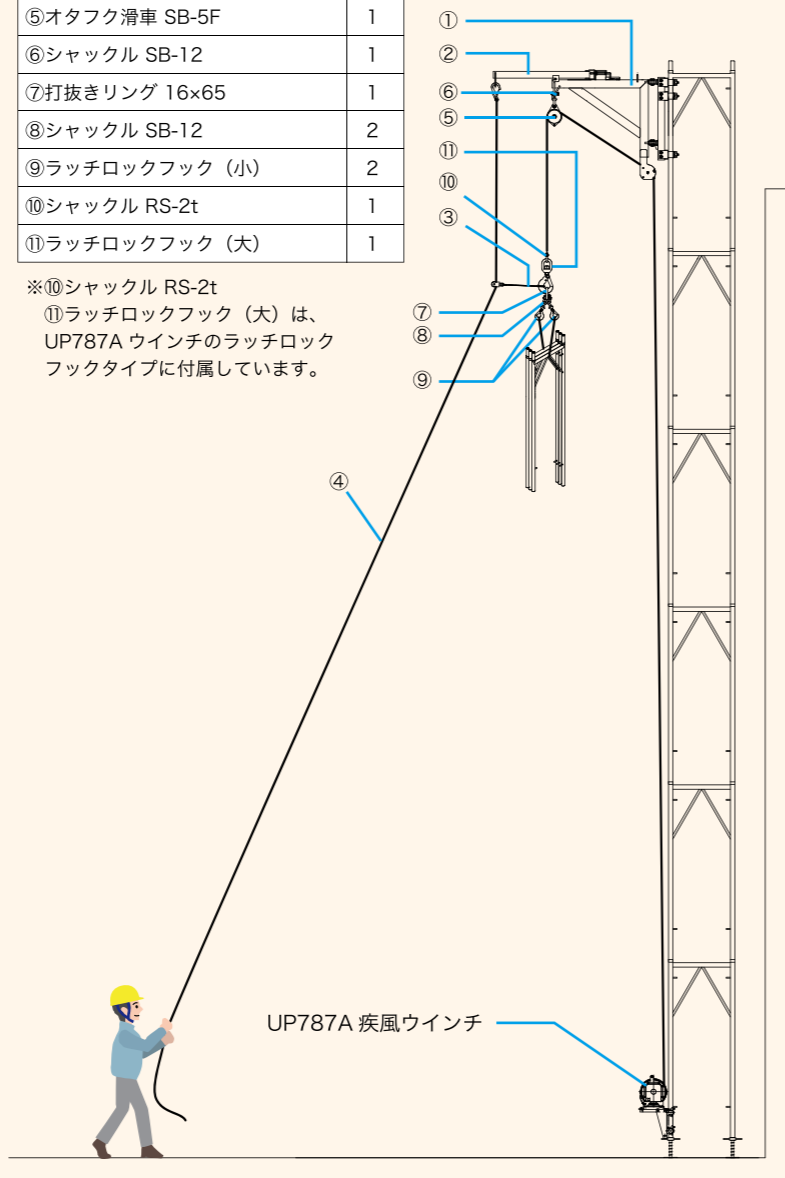
シルバーユニアーム
説明動画



■UP787A疾風ウインチ UP303シルバーユニアーム仕様図

品名	数量
①シルバーユニアーム (本体)	1
②介錯アーム	1
③補助ロープ (サンマブロック付)	1
④介錯ロープ (大径フック付)	1
⑤オタフク滑車 SB-5F	1
⑥シャックル SB-12	1
⑦打抜きリング 16×65	1
⑧シャックル SB-12	2
⑨ラッチロックフック (小)	2
⑩シャックル RS-2t	1
⑪ラッチロックフック (大)	1

※⑩シャックル RS-2t
⑪ラッチロックフック (大) は、UP787A ウインチのラッチロックフックタイプに付属しています。



シルバーユニアームの特長

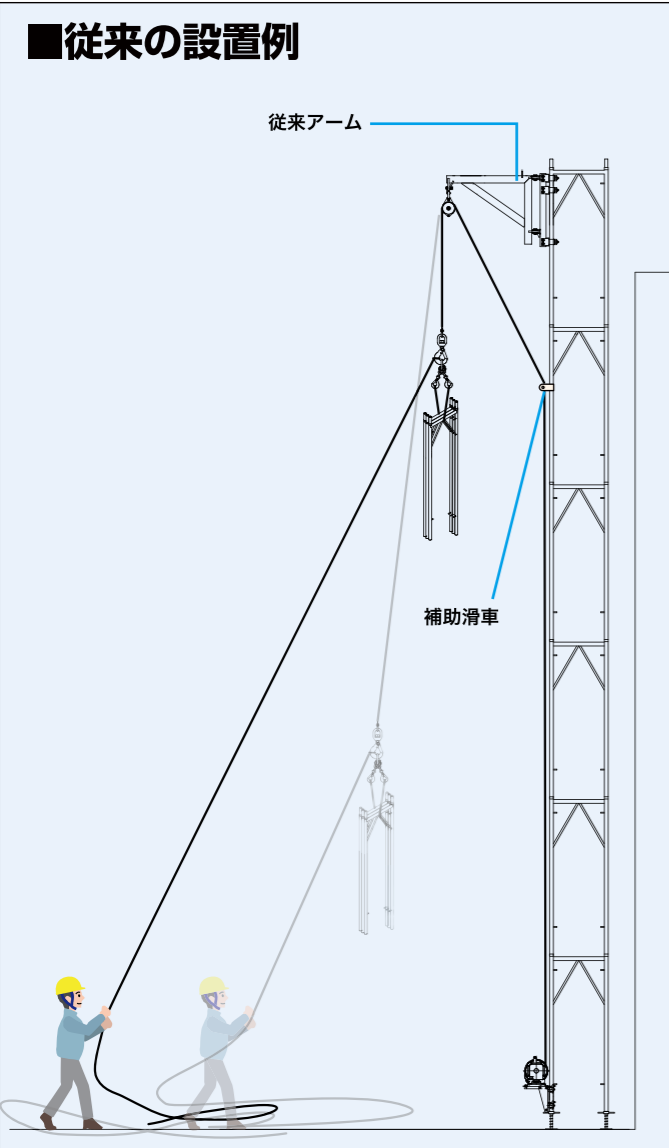
- 旋回軸に特殊ベアリングを内蔵しておりアームが軽く振れ、アーム間近でも安全に荷取りができます。
 - 介錯ロープをガイド代わりにし、吊荷を揚げる事ができます。
- ### 介錯ロープ、補助ロープ(サンマブロック付)を使用するメリット
- 介錯ロープに沿って吊荷が上がるので、吊荷の回転を防ぎます。(補助ロープ)
 - 介錯ロープを介錯アームに固定する事で、ロープの上下運動がなくなりロープが足元に絡まず安全です。(介錯ロープ)
 - 介錯ロープをテコの原理を応用し、引くことで植木・下屋根・アサガオ等の障害物をかわすことが可能になりました。

取付

- 一側足場、次世代足場のポケットもかわして設置できます。
- クランプ適合パイプ Φ42.7 Φ48.6
- 介錯アームとアーム本体が分割しているため、設置も簡単。

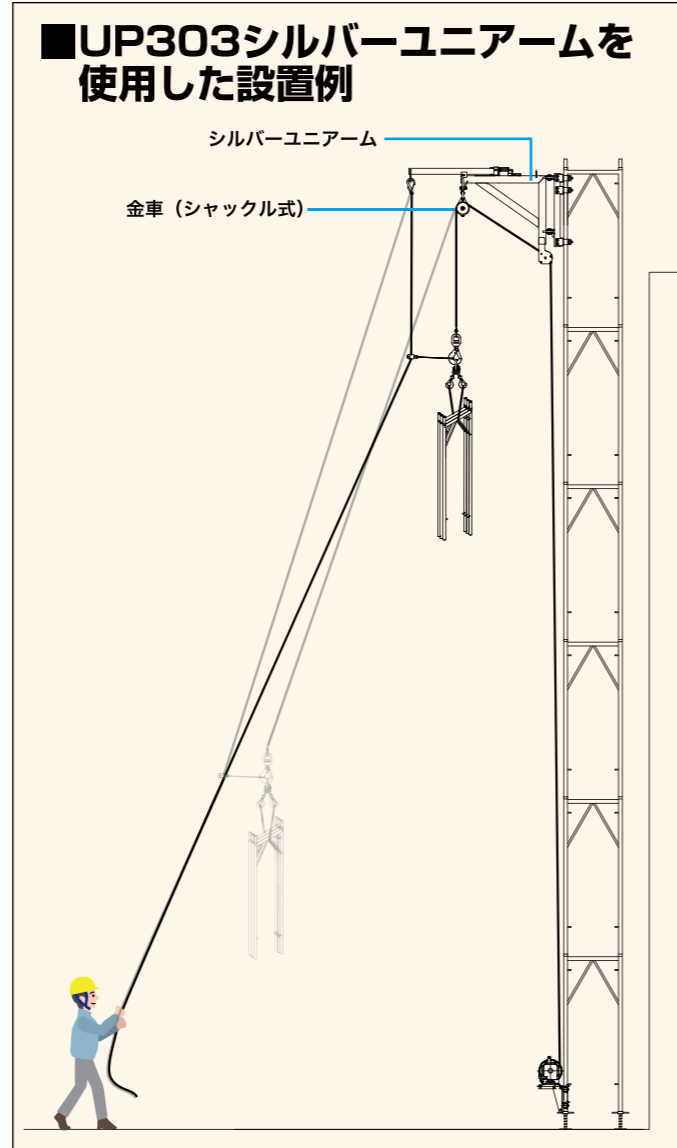
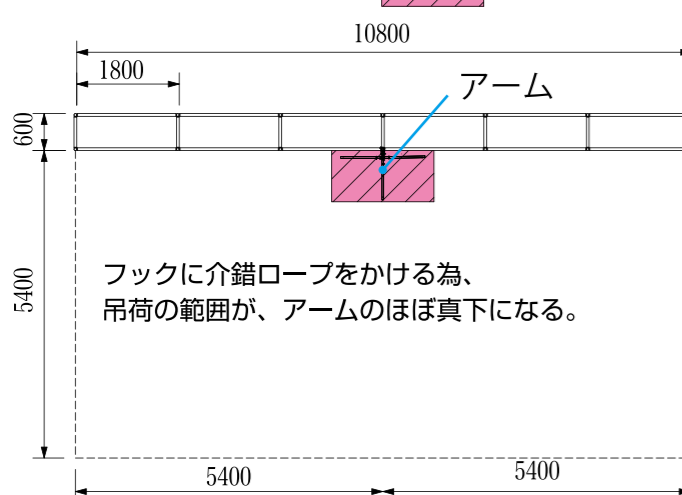


従来品とUP303 シルバーユニアームとの比較



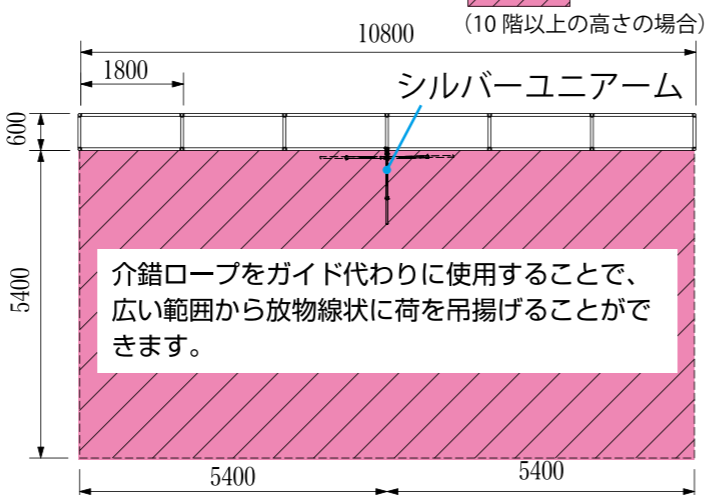
- 吊荷の上げ下げの誘導は吊荷が上がる程誘導が難しくなる。
- 吊荷が回転しやすく、操作が難しい。
- 下り操作時ロープを引き寄せる必要がある為、ロープが溜まり足元に絡み危険。
- 常にロープを張る力が必要なので、障害物をかわす事が困難になる場合がある。

■従来の吊荷範囲



- 介錯ロープをガイド代わりにし、吊荷を揚げる事ができます。
- 介錯ロープに沿って上がるので、吊荷の回転を防ぎます。
- ロープの上下運動がなくなり、ロープが足元に絡まず安全です。
- テコの原理を応用し引く事で、植木などの障害物をかわすやすくなります。

■UP303の吊荷範囲



UP303 シルバーユニアーム構成

注意：シルバユニアームに取付ける滑車（金車）は、シャックル式で固定する物をご使用下さい。
介錯ロープは、12mm又は14mmの太さの物を使用して下さい。

◆シルバユニアームセット



◆吊具セット A



◆吊具セット B



◆吊具セット C



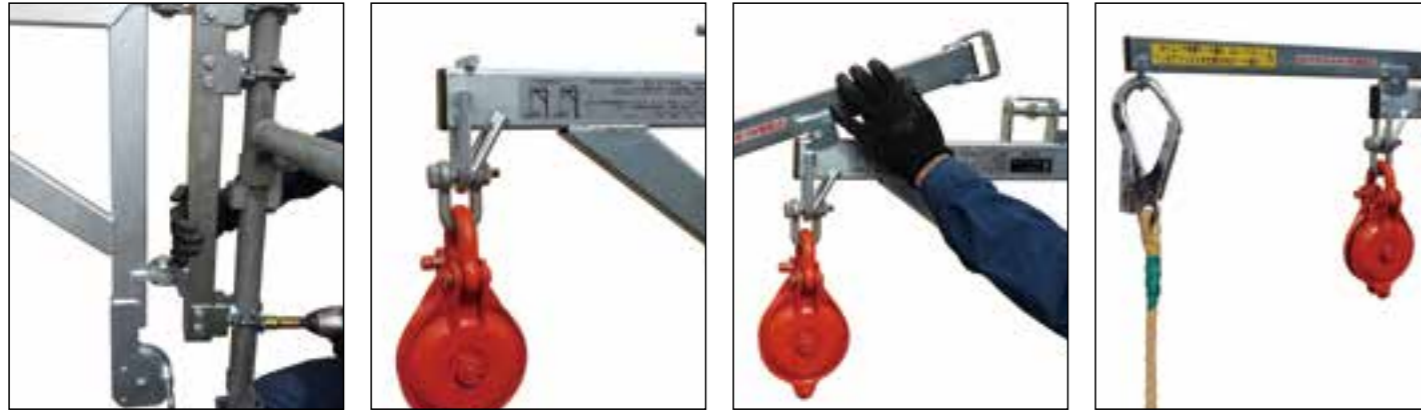
■UP303 シルバユニアームセット 製品構成表

型式・品名	仕様	数量	重量	シルバユニアーム	吊具セット A	吊具セット B	吊具セット C
				セット	UP303TA	UP303TB	UP303TC
UP303				●	—	—	—
シルバユニアーム 本体	クランプ3個付	1	14kg	●	—	—	—
介錯アーム		1	1.8kg	●	—	—	—
補助ロープ	サンマブロック付	1	0.5kg	●	—	—	—
介錯ロープ (大径フック付)	12mm×50m	1	4.2kg	—	●	—	—
オタフク滑車	SB-5F	1	3.3kg	—	●	—	—
シャックル	SB-14	1	0.5kg	—	●	—	—
打抜きリング	16×65	1	0.5kg	—	●	—	—
シャックル	SB-12	1	0.3kg	—	—	●×2	—
ラッチロックフック (小)		1	0.7kg	—	—	●×2	—
シャックル	BB-22	1	2.3kg	—	—	—	●
スリング	25mm×400mm	1	0.1kg	—	—	—	●×6
吊りフック	51S	1	0.3kg	—	—	—	●×6
シャックル	SB-12	1	0.3kg	—	—	—	●×6

UP303 シルバーユニアーム取付

ウインチの真上に取付けられない場合は、ワイヤーロープの巻が整列巻をする事ができませんので、ウインチの真上に方向転換用の滑車（滑車はウインチから 2.5m 以上離して設置）を取付けて使用して下さい。

組立説明動画



① 本体取付

ウインチを取付た真上に固定します。クランプ 3ヶ所をしっかりと締め込み固定して下さい。

② 滑車取付

アーム本体にシャックルを用いて滑車を取付。シャックル式の滑車（金車）を取付けて下さい。

③ 介錯アーム取付

ロックピンの板バネを押し、ロックピンを引き介錯アームを取付ロックピンを戻してロックします。

④ 介錯ロープ取付

介錯アーム先端に介錯ロープのフックを取付ます。ロープは、絡まないよう地上に降ろします。



⑤-1 ワイヤーロープ取付

ウインチの操作スイッチのⓉボタンを押し、ウインチからワイヤーロープを取り出します。



⑤-2 ワイヤーロープ取付

下部滑車の下方向からワイヤーロープを通します。



⑤-3 ワイヤーロープ取付

下部滑車下方向から通したワイヤーを上部の滑車に通します。



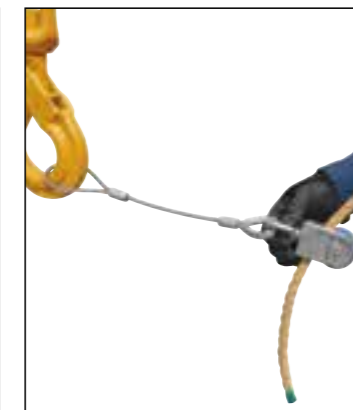
⑥ ラッチロックフック取付

ワイヤーロープ先端にラッチロックフック（大）をシャックルで取り付けます。



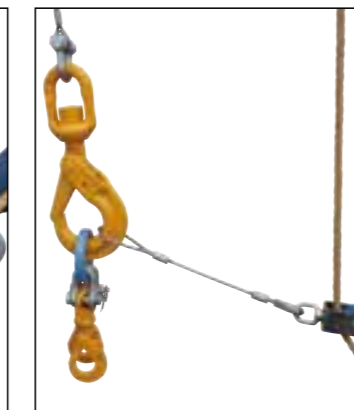
⑦-1 補助ロープ取付

ラッチロックフック（大）を地上に降ろし、補助ロープを取付けます。



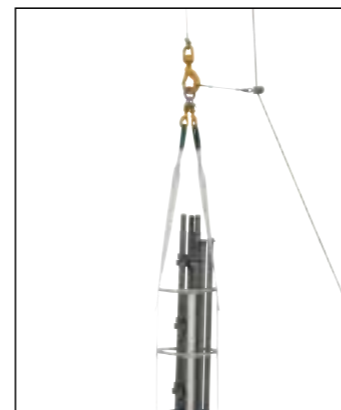
⑦-2 補助ロープ取付

ナイロン滑車側に介錯ロープを通し取り付けます。



⑧ ラッチロックフック(小)取付

補助ロープを取付後、ラッチロックフック（大）に打抜きリングを用いてラッチロックフック（小）を 2 個取付けます。



⑨ 試運転

セッティング完了。吊荷はラッチロックフック（小）に玉掛けし吊ります。2~3 回試運転を行い荷揚げ作業に入して下さい。

UP303 シルバーユニアームオプション

荷揚げに最適な各種吊りバッグとウインチの性能をフルに発揮できる電工ドラム

電線が太く電圧降下が起きにくくウインチ性能をフルに発揮。

単相 100V 用
(屋外用)

KM-NB01 吊りバッグ
Φ350mm×H400mm 小物用

K-2420 吊りバッグ
Φ400mm×H2420mm
支柱、筋交い等の長物用
違う長さを同時に荷揚げ可能。

折り畳んだ状態

KM-NB03 吊りバッグ
Φ350mm×H1400mm 長物用

NW-E33F 防雨型電工ドラム
極太電線 3.5mm×3 芯
(ポッキングプラグ使用)
長さ 30m 電線許容電流 32A

電工ドラムのご注意

電線に電流を流すと電圧降下が発生し、コンセントから取れる電圧が低くなります。電圧降下は、電線が細いほど、又は長いほど大きくなります。

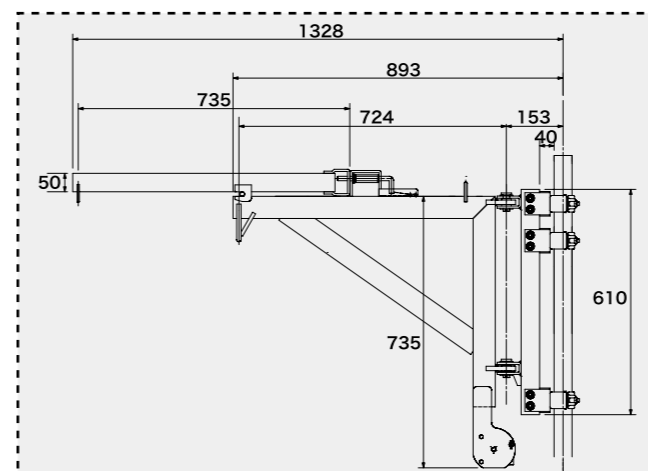
注1：ドラムから電線を必ず伸ばしてご使用ください。

注2：電源を十分確保してご使用ください。
(電源が満たないと、吊荷は上がらず、モーターに負担がかかり動作しなくなります。)

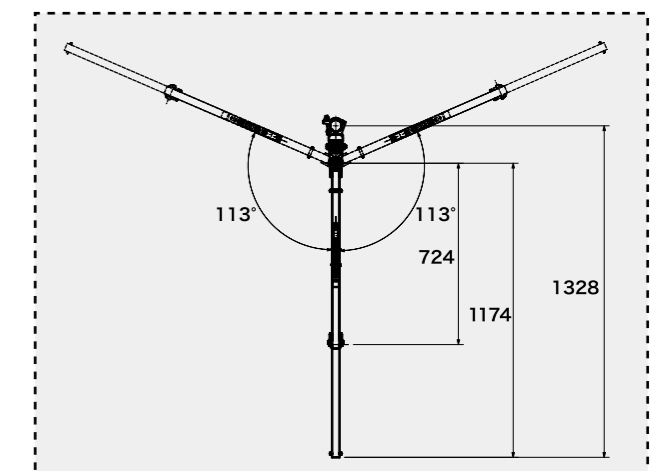
シルバーユニアーム構成規格

旋回半径	724mm
旋回角度	226 度
アーム本体重量	14.0kg
介錯アーム重量	1.8kg
アーム定格荷重	150kg

■ シルバーユニアーム寸法図 (単位 mm)



■ UP303 旋回角度



UP787A 疾風ウインチ 製品構成表

疾風ウインチは、ワイヤーの長さをお選びいただけます。
 疾風ウインチを安全に、また快適にご使用いただくために推奨電工ドラムをおすすめしています。

型式・品名	仕様	数量	重量 (kg)	無線タイプ リモコンスイッチ付	
				ワイヤー80m巻 ラッチロックフック付	ワイヤー100m巻 ラッチロックフック付
				UP787ARC-80L	UP787ARC-100L
①ウインチ本体		1	29.5	●	●
②ウインチベース		1	5	●	●
③電装ボックス (無線タイプ)		1	3.5	●	●
⑤リモコンスイッチ	無線タイプ	1	0.3	●	●
⑦ラッチロックフック	シャックル付	1	4.5	●	●
ワイヤーロープ	5mm×80m	1	8	●	—
ワイヤーロープ	5mm×100m	1	10	—	●

品番説明	UP787A	RC	80/100	L	<1>	<2>	<3>	<4>
	<1>	<2>	<3>	<4>	<1>	<2>	<3>	<4>

<1> ウインチの型式
 <2> 無線タイプ
 <3> ワイヤーロープの長さ 80・・・80m 100・・・100m
 <4> ラッチロックフック

型 式	UP787ARC-80L	UP787ARC-100 L
モーター形式	直流マグネットモーター	
定格出力	1000W	
電 源	AC100V 50/60HZ	
定格電流	15A	
定格時間	5分	
巻揚荷重	最大130kg	
巻揚速度	高速 (m/分)	荷重100kg 38m/分 荷重130kg 35m/分
	低速 (m/分)	荷重100kg 16m/分 荷重130kg 15m/分
ブレーキ方式	二重ブレーキ メカニカルブレーキ+発電制御	
ウインチ本体	29.5kg (ワイヤーロープ含まない)	
電装ボックス	無線タイプ	
ワイヤーロープ	5mm × 80m	5mm × 100m 5mm × 80m 5mm × 100m
電源コード	3m (3Pメスプラグ・ボッキングプラグ・アースクリップ付)	
接続コード	3m (3P/3P オスプラグ付)	
操作スイッチ	無線リモコンスイッチ1個 (オプション1個追加可)	
付 属 品	ラッチロックフック 専用ウインチベース	ラッチロックフック 専用ウインチベース
安 全 装 置	過巻防止スリップ機能 / 緊急停止機能 / 手動降下機能	

■UP787ARC無線仕様

仕 様	
入力電源	AC100V 50/60HZ 15A 漏電ブレーカー内蔵
無線送信機	リモコンスイッチ (1個) 5チャンネル送信 無線送信距離100m 単三アルカリ乾電池3個使用 オートパワーオフ機能付 ※ オプションで1個追加可能 (最大2ヶ所操作可能)
無線受信機	5チャンネル受信

製品特長

- ・無線送信距離 100m (使用環境によりかわります)
- ・無線リモコンスイッチは最大2個まで使用可能です。2ヶ所同時に操作する場合、優先回路が動き先に操作した方が優先となり、同時に使用する事はできない安全回路付きです。
- ・無線リモコンスイッチは無操作の状態が1分以上続くと自動的に電源が切れるオートパワーオフ機能付き。
- ・非常緊急停止機能付。緊急時リモコンスイッチの停止ボタンで緊急停止ができウインチの電源を確実に遮断します。
- ・漏電ブレーカー内蔵
ウインチ本体で漏電や過負荷等のトラブルがあった場合にブレーカーを切ります。

疾風ウインチ・シルバーユニアーム Q&A

- Q1 : 何階建ての建物まで使用可能ですか?
 A : 15 階建て (約 48m) まで使用可能です。ウインチ本体を上部に設置した場合それ以上にも使用可能です (ワイヤーロープ最大巻取 100m)
- Q2 : ワイヤーロープは 100m 以上巻けますか?
 A : ワイヤーロープの最大巻取りは 5mm×100mまでです。4mm径のワイヤーロープの使用はウインチドラム内に多重巻取りになり、また、ワイヤーロープのヨレ、つぶれ、ねじれ、食い込み等が起こりやすくキック、切断の原因になるため使用はできません。
- Q3 : 荷降ろしは何 kg まで可能ですか?
 A : 荷降ろしでの使用は、巻揚げ荷重の約 1/2 の荷重 65kg 以内で使用できます。荷降ろしの場合、ブレーキをかけながら降ろしますのでブレーキ板の摩擦抵抗が大きくなり過度の荷降ろしは、モーターに負担が掛かり故障の原因となり注意が必要です。
- Q4 : 過巻防止スリップ機能は常時使用は可能ですか?
 A : 過巻防止スリップ機能は、非常用の装置です。常時使用する事はできません。
- Q5 : 電工ドラム (延長コード) は何mまで使用できますか?
 A : 電線の太い物 (3.5スクエア以上) 使用する事で最大30m まで使用可能です。2.0 スクエアの太さの場合は最大 20mまでとなります。細い延長コードを使用しますと電圧降下でウインチの能力を発揮できない他、故障の原因に成ります。(5 ページの表を参照)
- Q6 : 発電機は何 KVA を用意したらよろしいでしょうか?
 A : ウインチモーター出力は 1KW ありますので約3倍の出力でインバーター付きの発電機をご使用下さい。ウインチ1台につき発電機1台必要です。
- Q7 : 昇圧機は使用できますか?
 A : 昇圧機は使用できません。100Vを超えた電圧は、モーターに負担が掛かり故障の原因となります。
- Q8 : 無線リモコンスイッチは何個まで使用できますか?
 A : ウインチ1台に付2個まで使用可能です。
- Q9 : 無線リモコンスイッチは同時に使用できますか?
 A : 1個のリモコンスイッチを操作してる際は、もう1つのリモコンでの操作はできなくなります。どちらのリモコンスイッチも都度早く操作した方が優先になります。

疾風ウインチ・シルバーユニアームを動画でご覧いただけます

UP787 疾風ウインチ、UP303 シルバーユニアームのわかりやすい動画をご用意しています。
 下記 QR コードからユニパー YOUTUBE チャンネルにアクセスください。



疾風ウインチ説明動画



UP787A 現場使用例



UP303 シルバーユニアーム



UP787A・UP303 組立説明

●安全上のご注意●

ユニパー製品を正しく、安全にご使用いただくために「安全上のご注意」を必ず守ってください。

1. ご使用前には取扱説明書を必ずよくお読みいただき、誤使用のないよう注意してください。
2. 電源は必ず AC100V をご使用ください。
3. ウインチのワイヤーロープは必ず点検してからご使用ください。
4. 作業時はヘルメット、保護めがねなどを使用してください。
5. 作業員以外のものが近づかないよう立入禁止などの措置をしてください。
6. 雨、雪、強風などの悪天候時には作業を行わないでください。
(労働安全衛生規則 522 条)
7. ウインチ・電装品・スイッチは雨や水に濡れないように十分注意してください。
8. ウインチ、アームの取扱説明書に表示されている最大積載量以上の荷物は絶対に吊らないでください。
9. 吊り荷は落下などしないように必ず固定してください。
10. シルバーユニアームを取付けるパイプ足場などには曲げモーメント 300kg・m がかかりますので、強度の確認をお願いします。
11. シルバーユニアーム取付クランプ (3 カ所) のナットの締付けトルクは、35kg/10cm のトルクで確実に締付けてください。
12. クランプ適合パイプはパイプ径φ42.7、φ48.6 をご使用ください。
13. 吊荷中は介錯ロープの真下付近には人を立ち入らせないでください。
14. 人の吊上げには使用しないでください。
15. 異常発生時はただちに作業を中止し、原因を調べたうえ、正常に戻してからご使用ください。
16. 使用時には損傷した部品などがなければ必ず点検してからご使用ください。
17. ユニパー製品は該当する規格に適合していますので、改造は絶対にしないでください。
18. 修理は必ずお求めの販売店、又はメーカーまでお申し付けください。

■労働安全衛生法にて、動力により駆動される巻上げ機を用いる作業につく場合、**特別教育を受講する必要があります。**

- 誤使用を防ぐため、必ず取扱説明書を読んでからご使用ください。
- ユニパー製品は日本製です。類似品には充分ご注意の上お買い求めください。

ユニパー株式会社

本社 / 〒224-0042 横浜市都筑区大熊町 814
☎(045)471-0015(代) FAX(045)471-0013
Email : info@uniper.co.jp

<https://www.uniperjp.com/>



このカタログは 2023 年 1 月現在のものです。

※カタログの仕様、価格及び外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

